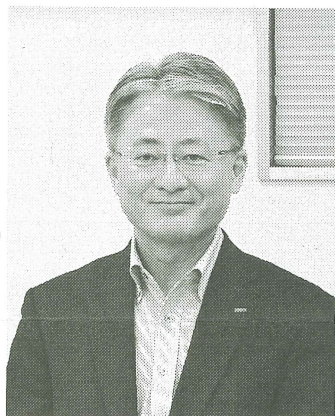


ポラスグループ

賃貸住宅を柱として成長へ CM等でエリアで認知度アップへ



ポラスグランテックの
伊藤賢一取締役

ポラスグループは賃貸住宅事業を同グループの柱に成長させる計画である。ポラスグループ

ポラスグループは賃貸住宅事業を同グループの柱に成長させる計画である。ポラスグループ

ープの賃貸住宅事業を主に担っているのはポラスグランテックである。ポラスグランテックはどのように戦略で賃貸住宅事業を成長させるのか。

同社が建設した「第一エネルギー設備株式会社本社ビル」完成の発表において、ポラスグランテックの伊藤賢一取締役は賃貸住宅について「認知度をアップさせたい」と語った。ポラスグループが分譲住宅を展開しているエリアでは、マイホームを計画しているほとんどの人がポラスの戸



ポラスグランテックが建設した
第一エネルギー設備の本社ビル

建分譲住宅について知っている。それほど戸建分譲住宅におけるブランドは浸透している。しかし、ポラスグループの賃貸住宅についてはほとんどの人が知らない。

そこでポラスの賃貸住宅のブランドを浸透させるために、CMを積極的にやっている。エリア内でのポラスの信頼度は高いことから住民の関心を賃貸住宅に向ける戦略である。

現在、コロナ禍で直接対面で営業をすることはほとんどないが、WEBによる問い合わせなどが増えそうだ。また、ポラスグループの単独の住宅展示場「体感すまいパーク東浦和」に出展している。住宅展示場における賃貸住宅のモデルハウスは珍しいが、その新しいチャンネルにおいて受注を獲得している。

事務所・倉庫、戸建賃貸住宅、鉄骨造注文住宅、高齢者・保育施設、改修工事などである。

今回発表した「第一エネルギー設備株式会社本社ビル」は重量鉄骨フーメン構造9階建てで総事業費は11億9200万円である。

こうしたビル建設についても今後コンスタントに受注を獲得していく計画である。

同社の売上高は2020年度が31億1100万円、21年度では48億5000万円を見込んでいます。

同社は賃貸住宅を含め次の事業を展開している。取り扱っている商品は、重量鉄骨造賃貸住宅、RC造賃貸住宅、木造賃貸住宅、軽量鉄骨造賃貸住宅、店舗・